

五観中だより

広島市立五日市観音中学校『学校通信』平成23年度 第17号

「修学旅行特集号」裏面に3月行事

平成24年2月22日 発行

【正門前「校訓」碑】



「学び」と「思い出」てんこ盛り

修学旅行の目的の一つに、「文化遺産にふれ見聞を深める」というものがありました。わが国の歴史を語る上で欠か

5時間かけてようやく奈良に到着・・・まず腹ごしらえ。



薬師寺金堂

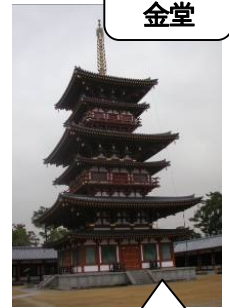
せない「二大古都」奈良と京都で実地研修をしたわけですが、観光ガイドさんやお坊さん、京都ではガイドまでして下さったタクシーの運転手さんのおかげで、関心高めながら楽しく学習することができました。



よしもとの芸人さんではありません。



全員の熱い視線の先は・・・(日ごろこんなに集中して聴く?)



薬師寺西塔です。1300年前の姿そのままの東塔は、残念ながら修復中で、すっぽりとベールに包まれていました。

今後、家族旅行などで史跡を訪れる機会があれば、現地のガイドさんの説明を聞くのがおすすめです。



東大寺のいわば正門「南大門」

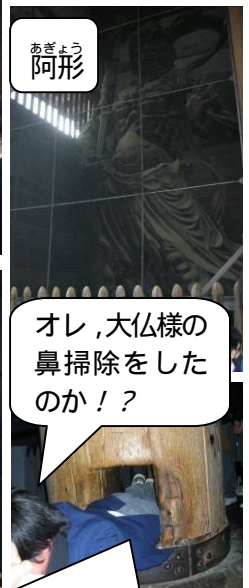
さあ、今回の「学習」の経験を忘れず、学校でも教わっている時は、自分の置かれた(教わっているという)立場をわきまえて、素直な気持ちでしっかり学びましょう。



うんぎょう 吽形



一同思わず見上げる...迫力に圧倒されます。



あぎょう 阿形

正面から見ると、ドラえもんのように3頭身なのです。

オレ、大仏様の鼻掃除をしたのか!?

まるで現代のビルです。よくあの時代にこんなものを...



東大寺大仏殿

どれも下から見上げた時にちょうどいいように、遠近法が駆使されています。



この穴が鼻の穴?! 巨大さを想像してください。

【ひとロメモ...「阿吽の呼吸」とは】口を開いて出す音・吐く息が「阿」、口を閉じて出す音・吸う息が「吽」で、仁王像や狛犬(こまいぬ)は、必ず一方が口を開き、一方が口を閉じています。「阿吽の呼吸」とは、二人(複数)で何かをするときの気持ちの合い方を意味します。

ところで、修学旅行の目的には、「規律ある生活を通して、自分を見つめ、自分の役割を果たし、集団の一員としての自覚を高める」「お互いに協力し支え合うことにより、より良い仲間づくりをする」「研修の計画・運営・反省を自分たちの力でやり、自治の力を育てる」というものもありました。これからも続く学校生活を考えると、これらの目的は重要でした。そこで事前に、ルールやマナーを守ることはもちろん、「ムダな時間をつくらないよう指示などは集中して聴こう」「しおりを見て自主的に動こう」「集団の一員として自分の責任と役割をしっかりと果たそう」「仲間の良さを見つけよう」「お互いを気づかい声をかけ合ったり注意し合ったりしよう」と要求しておきました。

さて実際に旅行中どうだったかという...

大体時間を守って行動できました。ただ、時々集合してから聴く態勢になるまで時間がかかることがありました。多くの人は、自主的に行動できていましたが、確認間違いや必要な時に『しおり』を忘れることがありました。実行委員さんを始め、各係はそれぞれ自分の役割をこなしていました。中でも学習レク係は、事前の準備も大変だったと思いますが、バス内で大活躍でした。各班・各部屋で楽しそうに過ごす姿が多く見られ、微笑ましくもありました。体調を崩す人もいて大変心配しました。せっかくの楽しい旅行中に、人を傷つけてしまうような言動もあったようです。騒ぎ合い・ふざけ合いが過ぎ、ケガをしたりさせられり、普段学校でも注意されることが起こってしまい残念でした。全般的には、充実した取り組みとなったと言ってよいでしょう。携わってくださった多くの人に感謝し、旅行中に努力したことや頑張れたこと、学んだことを今後の生活に生かしていきましょう。

やはり多くの生徒はUSJが一番楽しみだったようで、そこでしかかぶれそうにないキャラクターのかぶり物を身につけ大はしゃぎ。

みんなで楽しく食事



湯葉・豆腐づくり体験



二晩お世話になったお宿「いしちょう」京都を感じられる料理など、温かいおもてなしを受け、快適な旅となりました。



神社への参り方を教えてくださいださるタクシー運転手さん



24 台のタクシーでの研修は雪模様の中助かったし、観光ガイドや昼食の穴場紹介などをしていただき最高でした。

学問の神様と称される菅原道真を奉る北野天満宮では、ちょうど受験シーズンということで、地元のマスコミの取材を受けるというサプライズがありました。真剣な面持ちでインタビューに答えていました。

